SCHAEFFLER

プレスリリース

ヒューマノイドがヒューマノイドを製造：シェフラー、中国・太倉にライトハウス工場を開設

- 中国・太倉のライトハウス工場において、部品製造、ロボットの訓練、データ収集、および産業用途向けデジタルツインを 1 拠点に集約
- 未来のものづくりに向けて、ヒューマノイドが次世代ヒューマノイド向け関節モジュールの量産を実現
- 実際の製造環境での検証を通じてヒューマノイドロボットの産業実装を加速し、スケーラブルな製品ソリューションの実現を推進

2026 年 10 月 20 日 | 太倉 / Herzogenaurach / Yokohama
モーションテクノロジーカンパニーであるシェフラーは、中国・太倉にヒューマノイドロボティクス向けの先進的なライトハウス工場を開設しました。延床面積約 7,500 平方メートルの同施設には、インテリジェント組立ライン、トレーニング・データ収集センター、デジタルツインプラットフォーム、およびデータセンターを集約しています。同施設は、個々のロボットスキルの検証から実際の製造現場での活用までを網羅しており、「ヒューマノイドがヒューマノイドを製造する」コンセプトを実現しています。具体的には、ヒューマノイドロボットが、次世代ヒューマノイド向けの主要な関節モジュール（アクチュエーターを含む）の組立を行います。このライトハウス工場の開設により、シェフラーはヒューマノイドロボティクス向けコンポーネントの量産を開始するとともに、お客さまやパートナー企業に対し、実際の産業環境でフィジカル AI システムのトレーニングおよび検証を行う機会を提供することで、産業分野におけるヒューマノイドの導入加速を後押しします。また、この成長市場における需要の急拡大は、シェフラーの受注状況にも表れています。シェフラーは、2026 年第 3 四半期にグレーターチャイナ地域で新たに 2 社の顧客を獲得したことを発表しており、これによりヒューマノイドロボティクス分野における受注高は約 4 億ユーロに達しました。

Schaeffler AG の COO である Jochen Schröder は、次のように述べています。「シェフラーは、未来の生産現場を形作るとともに、ヒューマノイドロボティクス分野における主要サプライヤーとして、お客さまから第一に選ばれるテクノロジーパートナーを目指しています。太倉のライトハウス工場では、シェフラーのグローバルネットワークで初となる、ヒューマノイドがヒューマノイド向け部品を組み立てるクロ

ーズドループ型の製造体制を構築しています。このライトハウス工場では、当社が長年にわたり培ってきた製造ノウハウと、フィジカル AI およびデジタルツインを融合しています。これにより、主要なロボット部品における当社のケイパビリティを拡張するとともに、ヒューマノイドロボティクスの産業実装を加速し、実用化を推進していきます。」

部品製造から産業実装へ

このライトハウス工場の中核となるのが、リニアアクチュエーターやロータリーアクチュエーターをはじめとするヒューマノイドロボットの主要部品向けにシェフラーが開発した組立ラインです。5 つのステーションで、6 体のヒューマノイドが協調して作業を行います。部品の配置・仕分けから、接合、検査、ラベル貼付、梱包に至るまでの工程を一貫して担います。デジタルツインは仮想上の複製モデルとして機能し、実際の生産ラインのプロセスをリアルタイムで反映します。センサーにより、組立精度、各工程の作業時間、エネルギー消費量、設備稼働状況などの各種パラメーターを取得します。工程変更を行う際は、実際の生産ラインへ適用する前に、デジタル環境上で検証および最適化を行うことが可能です。これにより、開発期間の大幅な短縮と、高度な安定性および高信頼を備えた生産体制の実現に貢献します。

また、シェフラーはトレーニング・データ収集センターにおいて、産業用途向けヒューマノイドロボットの訓練を行っています。訓練対象には、部品の外観検査、梱包、マテリアルハンドリング／搬送、コンテナの移動、ラインサイドへの部材供給などが含まれます。トレーニング環境は、シェフラーが世界各地で展開する約 100 カ所の製造拠点における実際の稼働環境を反映して設計されています。これにより、習得したスキルを組立ライン上で直接検証するとともに、継続的な調整・最適化を行うことが可能です。さらに、トレーニング、シミュレーション、および生産現場から得られるデータを統合的に活用することで、ロボットの性能を継続的に向上させます。

シェフラーのグレーターチャイナ地域 CEO である Yilin Zhang は、次のように述べています。「中国のヒューマノイドロボティクス産業は急速な成長段階に入っています。モーションテクノロジーカンパニーであるシェフラーは、研究開発、製造、そして産業連携における現地のケイパビリティを生かし、中国のヒューマノイドロボティクスエコシステムの発展を加速しています。太倉のライトハウス工場の開設は、中国市場への長期的なコミットメントを示すとともに、ヒューマノイドロボティクス分野における事業拡大に向けたシェフラーの重要な一歩となります。」

新設されたライトハウス工場の内部を紹介する動画は、以下のリンクよりご覧いただけます：https://www.youtube.com/watch?v=Ef_yPULR0fM



Schaeffler AG COO の Jochen Schröder（左から 5 人目）と、グレーターチャイナ地域 CEO の Yilin Zhang（左から 3 人目）が、来賓および従業員とともにライトハウス工場の開所式を執り行いました。



トレーニング・データ収集センターでは、産業用途向けヒューマノイドロボットの訓練を行っています。



ヒューマノイドがヒューマノイドを製造：ライトハウス工場では、ヒューマノイドロボットがリニアアクチュエーターやロータリーアクチュエーターなどの主要コンポーネントの組立を行っています。

写真：シェフラー

注）本プレスリリースは現地時間 2026 年 10 月 20 日付で中国・太倉およびドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

****

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO_2削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイダンスシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 11 万人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を持つ、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。